

第11期事業報告書(1/3)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

特定非営利活動法人益田市町おこしの会

【事業の成果について】

第11期の事業成果として大きなものは、以下である。

1. 2022第9回益田INAKAライドの実施

本年度大会は、規模を縮小したが3年ぶりに開催することができ参加者から多くの喜びの声を頂いた。翌日の山陰中央新報朝刊に記事として取り上げられた。

3年ぶりINAKAライド

益田市内を自転車で駆け抜ける「益田I・N・A・K A (イナカ) ライド」が4日、2019年以来3年ぶりに開かれ、島根県内外の

愛好者250人は豊かな自然を楽しみながらペダルをこいだ。

地元のNPO法人益田市町おこしの会(斎藤勝広

理事長)が12年に始め、新型コロナウイルス禍での中止を挟んで9回目。

最高気温35.2度を記録する中、千葉県や大分県などからの参加者が、島根県芸術文化センター・グラントワを発着する160キロ120キロのコースに分かれて疾走した。いずれも日本海沿岸から山間部の匹見や美都をぐるりと巡った。

沿道ではボランティア350人が休憩場所や水の浅漬けやスイカを振るまったり、交通整理をしたりしてサポートした。地元住民は手を振りながら「気を付けて」「いってらっしゃい」などと声援を送った。

120キロを走り抜いた神奈川県茅ヶ崎市の会社役員竹内繁雄さん(46)は「匹見

スタート地点の島根県芸術文化センター・グラントワを出発する参加者—益田市有明町

第11期事業報告書(2/3)



第11期事業報告書(3/3)

2. アイルランド・パラ自転車チーム合宿サポート

2020東京パラリンピックの際、益田にて事前合宿を行ったアイルランドチームが再度、合宿を行い、そのサポートを実施した。

以上